



12月 ようちえんだより

2024.12.1
幼保連携型認定こども園
西神戸YMCA幼稚園

2024年最後の月を迎えました。12月1日は日曜日です。この日から教会ではアドヴェント（待降節）に入りクリスマスを迎える準備が始まります。アドヴェントとは「キリストがこの世に來られるのを待つ」という意味があり、クリスマス待つ4週間のことです。1週ごとに1本ずつアドヴェントクランツのローソクに火を灯し4本のローソク全てに火が灯ったらクリスマスの到来です。幼稚園では12月9日（月）からクリスマスウィークです。すでに3本目のローソクに火が灯り3週目のアドヴェントに入りました。来週にはいよいよクリスマスを迎えます。

幼稚園のアドヴェントの期間は子どもたちと少しずつお部屋を飾り、大好きな人への贈り物を準備し喜びながら待ち臨みます。幼稚園のロビーもクリスマスのオーナメントで美しく飾られ子どもたちの心をワクワクさせています。保育室にはアドヴェントカレンダーが飾られ毎日ひとつずつカレンダーの窓が開いたり、袋から素敵なものが出てきたりしてアドヴェントカレンダーを開けるこの時間も子どもたちは、楽しみにしています。大好きな家族のことを思いながらのプレゼント作りも丁寧に心を込めています。また通園途中に拾ったどんぐりや木の葉を袋に詰めてプレゼントしてくれる子どもの姿にもクリスマスの喜びを感じます。お部屋の中もクリスマスが近づくとともにどんどん美しくクリスマスの喜びで溢れます。

クリスマス礼拝では、年長組はイエス様がお生まれになったお話を「降誕劇（ページェント）」でメッセージしようとしています。「今日は〇〇ちゃんの声が大きくて、おかげでみんなも大きな声が出たよ」「みんながんばってた！」「ドキドキしたけどがんばった！」とお友だちや自分のがんばっている姿を伝え合い、喜び合う姿に心が温かくなります。みなさまの心に届きますように。年中組、年少組は歌や演奏でイエス様のお誕生をお祝いしようと準備しています。神の子イエス様のご降誕を多くの方々と共に喜び合いたいと願っています。

今年の元旦は能登地方で大地震が発生し、新年の喜びも一瞬で消え去りました。「まさかこんなことになるなんて」と落胆の気持ち、どうしようもない悲しみが押し寄せました。少しずつ少しずつ復興への歩みが始まりましたが、追い打ちをかけるように同じ地方を豪雨が襲いました。復興を目指して立ち上がろうとしていた方々の無念さは計り知れません。思わぬ出来事に不安、恐れ、悲しみが伴っておられることに胸が痛みます。しかしその中にあって神様がともにいてくださり苦しみや悲しみを受け止め、支え、多くの恵みを与えてくださることを信じています。子どもたちともこのアドヴェントの時に、クリスマスの喜びを語る時に「支えあい助け合うこと」を話してお祈りを献げています。どうぞ引き続き、能登半島地震豪雨災害緊急支援募金にご協力ください。また、先日行われました「ミニバザー」の収益金の一部も国際協力募金として献げ、多くの人と分かち合いたいと思います。ありがとうございました。

～メリークリスマス！良いクリスマス・新年をお迎えください。～

年主題

『さあ、漕ぎ出そう 奏でよう』

<年主題聖句>

「わたしは道であり、真理であり、命である。」（ヨハネによる福音書14章6節）

12月主題 「喜び合う」

聖句 「さあ、ベツレヘムへ行こう。」（ルカによる福音書2章15節）